

# 漁海況速報

No.1

平成16年1月9日発行

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

明けましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願ひいたします。

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

### 海況（表面）

- ①親潮系冷水は県北部沖から弱い波及がみられる。本県沿岸は概ね10~11°C台で、前々週より約1°C降温した。
- ②黒潮系暖水は弱く、茨城県海域で15~16°C台の弱い波及がみられるのみ。
- ③定地水温は、小名浜は2~3°C低め、大熊は1~2°C低め、松川浦は平年並みで推移しています。

### 見通し（1週間）

- ・親潮系冷水、黒潮系暖水とも勢力は現状並みで、本県沿岸水温は停滞するでしょう。

### 平成15年の福島県における漁海況の特徴

- ・一年間の漁海況について、簡単に整理し、裏面に掲載しましたのでご覧ください。

### 「漁海況速報」について

- ・海況図について：表面水温データは、原則として発行日前一週間分の船舶による実測水温（航走）を用いていますが、実測水温が少ない場合は人工衛星による水温値を参考にしています。
- ・定地水温について：小名浜…みさき公園下取水（午前9時）、大熊…水産種苗研前浜から取水（午前9時）、松川浦…湾口部の表層（午前10時）、広野沖…広野地先約40kmの水深5mで測定（午前7時）
- ・漁況概況について：データ期間…原則として、発行日前週の木曜日～翌週水曜日までです。整理方法…各漁協について漁法ごとに集計し、水揚金額の多い順に掲載しています。

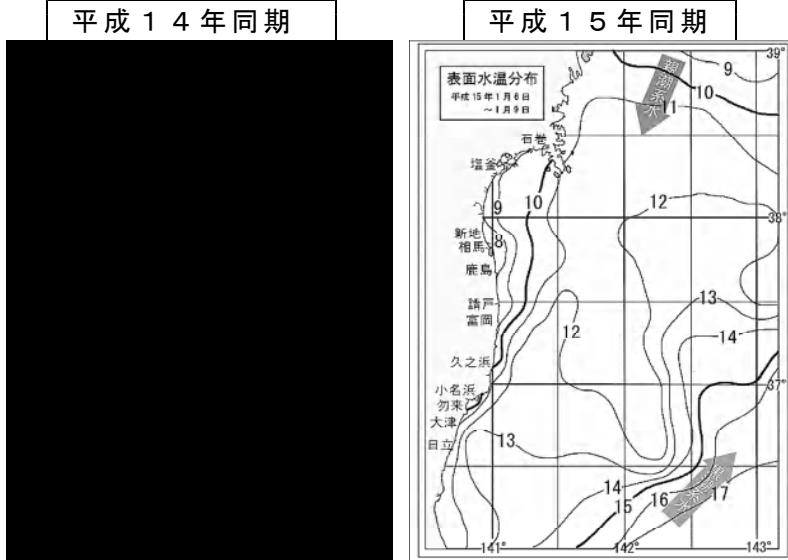
（ご不明な点は、水試漁業部までお問い合わせください）

平成14年同期

定地・定点水温の推移(°C)				
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
12/26	10.5	12.0	—	—
1/ 5	10.2	10.2	8.9	—
1/ 6	9.9	10.0	8.8	—
1/ 7	9.7	9.8	8.7	—
1/ 8	9.8	9.8	8.5	—

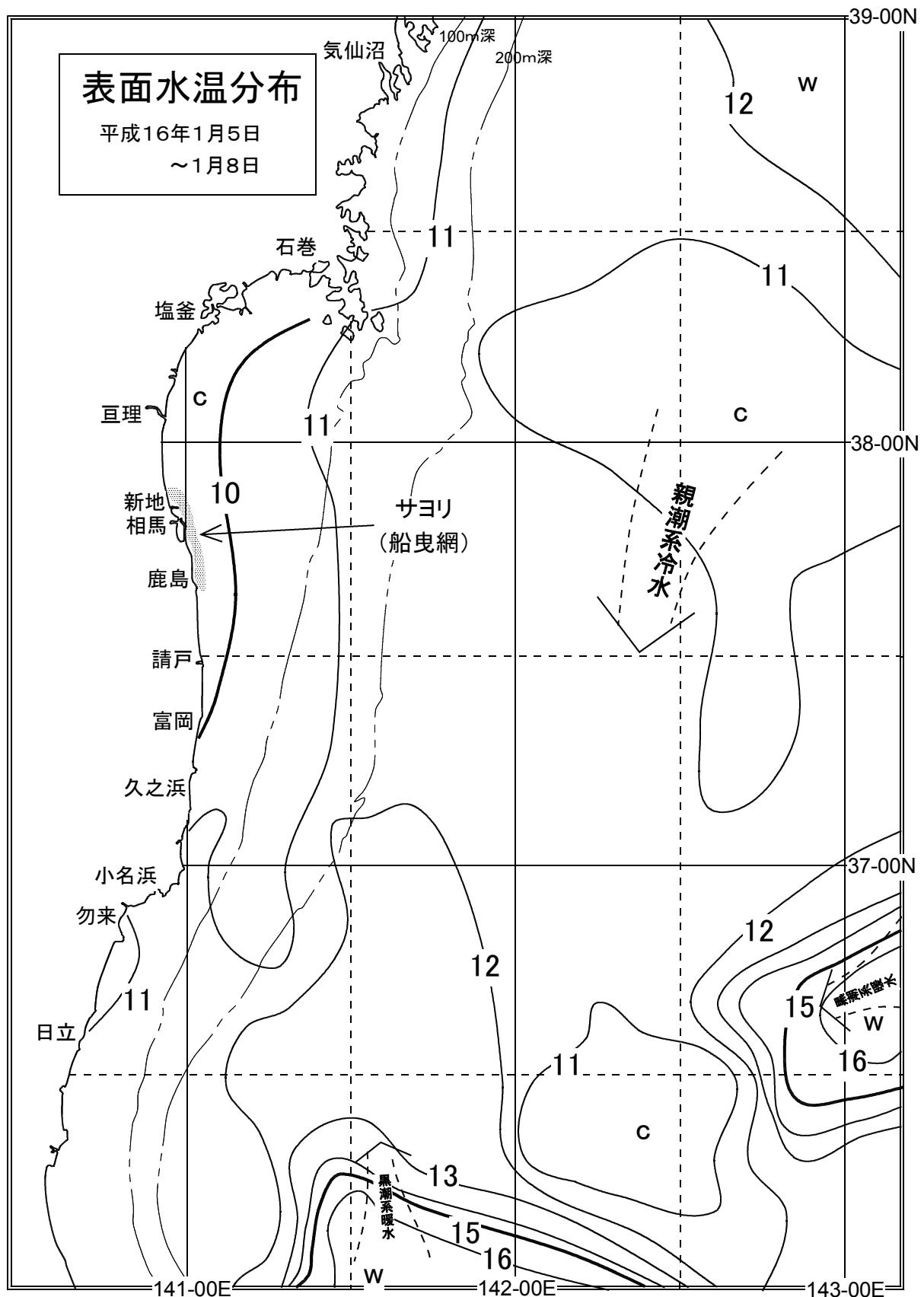
広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成15年同期



## 表面水温分布

平成16年1月5日  
~1月8日





# 漁海況速報

No.2

平成16年1月16日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況（表面）

本県沿岸は9~10°C台の極めて単調な水温分布

- ①親潮系冷水の勢力は弱く、本県沿岸への目立った波及はみられない。季節的な降温により、沿岸は9~10°C台となっている。
- ②黒潮系暖水の波及は極めて弱く、15°C台の等温線は海況図上にみられなくなった。
- ③定地水温は、小名浜は2~4°C低め、大熊は1°C低め、松川浦は平年並みで推移している。

### 見通し（1週間）

・ 単調な水温分布が続くでしょう。ごく沿岸は降温が進む見込みです。

### H15年におけるイシガレイ仔稚魚の大量発生について

- ・ 平成15年1~12月に調査船「拓水」で実施した幼稚魚調査で、イシガレイ仔稚魚（全長1~15cm）が多数採集されたので、その経過をお知らせします。
- ・ 県内の3ヵ所（相馬市磯部地先、夏井川河口、鮫川河口）で小型けた網を曳網しました。その結果、2~7月に仔稚魚が調査を開始した平成10年以降で最も多く入網しました。特に2、3月の合計では、過去の平均（平成11~14年）が12.6尾であったのに対し689尾と、平均よりも50倍以上の尾数となりました。
- ・ 今回、多くみられたイシガレイが順調に成長すれば、平成16年後半より漁獲加入すると思われますが、その推移について今後も追跡していく予定です。

※詳細については、水試ホームページに掲載しています。

### お詫びと訂正

前号で誤りがありましたので、お詫びし訂正いたします。

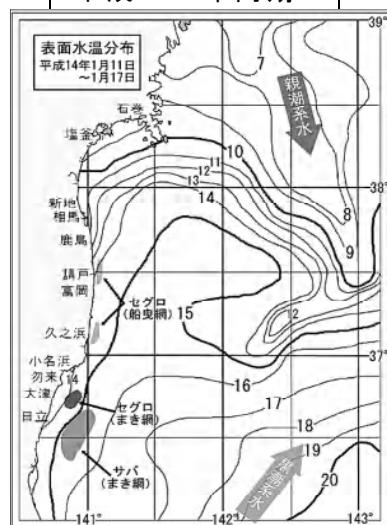
- ・ 「漁海況速報」について の定地水温（松川浦）は、×水深5m→○表面に訂正
- ・ 「漁況概況」について の相馬原釜・貝けた網の隻数は、×4 →○32に訂正

### 定地・定点水温の推移(°C)

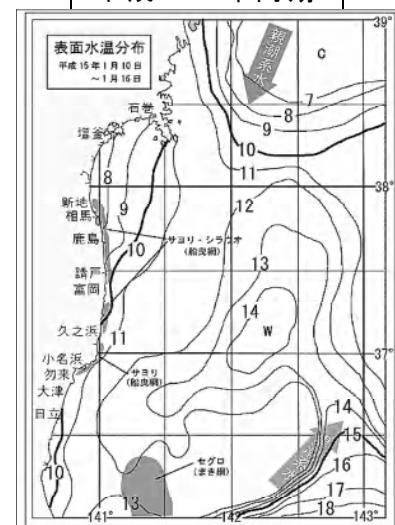
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
1/9	9.9	9.5	8.4	10.3
1/13	9.0	9.1	7.6	10.0
1/14	9.0	9.6	7.1	9.9
1/15	8.2	9.1	6.3	9.7
1/16	7.7	—	—	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

### 平成14年同期

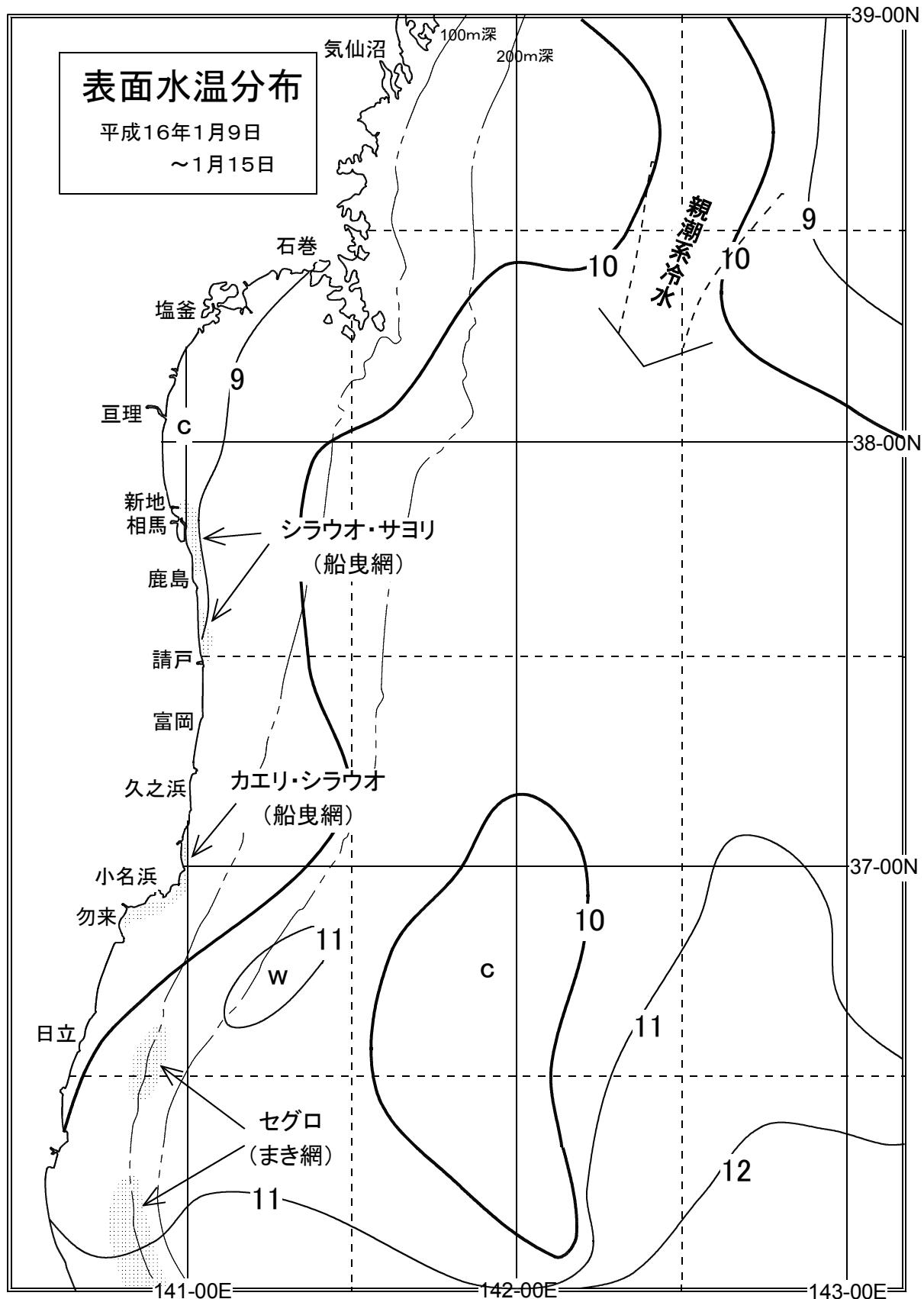


### 平成15年同期



## 表面水温分布

平成16年1月9日  
~1月15日



# 漁海況速報

No.3

平成16年1月23日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況（表面）

#### 単調な水温分布が持続

①前週に引き続き、親潮系冷水、黒潮系暖水の勢力は共に弱く、本県沿岸への目立った波及はみられない。

②本県沿岸水温は、8~9°C台で、前週より約1°C降温した。

③定地水温は、小名浜は1~3°C低め、大熊は1~2°C低め、松川浦は平年並みで推移している。

### 見通し（1週間）

・黒潮系暖水の勢力は現状並みに弱いでしょう。親潮系冷水は県北部沖合を中心にごく弱い波及がある見込みです。

### 漁況情報（平成15年11月以降の船曳網漁）

- 平成15年11月からの船曳網で漁獲される3魚種について、前年同期と比較しました。
- シラスは前年の約0.7%にとどまり、シラウオは約70%、サヨリは約60%となっています。
- 今期の特徴として、サヨリの平均単価が前年の約3倍と高めで推移していることが挙げられます。

単位:kg

	平成15年11月～16年1月 シラス シラウオ サヨリ	平成14年11月～15年1月 シラス シラウオ サヨリ
11月上旬	2,208	2,138
中旬	73	1,242
下旬	0	706
12月上旬	17	36
中旬	2	19
下旬	0	2,066
1月上旬	503	1,592
中旬	320	99
期間計	3,123	7,898

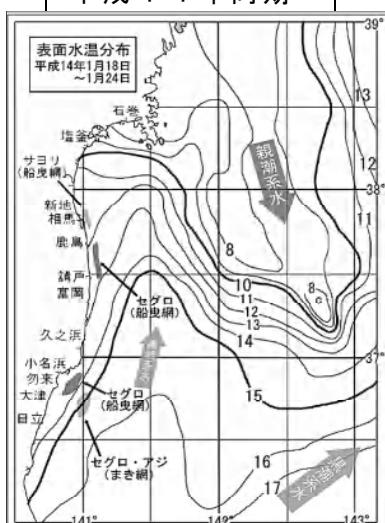
(水試速報値)

### 定地・定点水温の推移(°C)

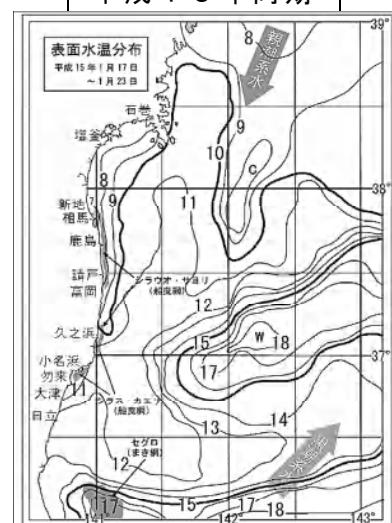
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
1/16	7.7	8.9	6.3	9.4
1/19	8.5	8.9	6.5	9.5
1/20	8.5	8.3	6.8	9.6
1/21	8.9	8.5	7.2	9.2
1/22	9.0	8.4	6.8	9.5

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

### 平成14年同期

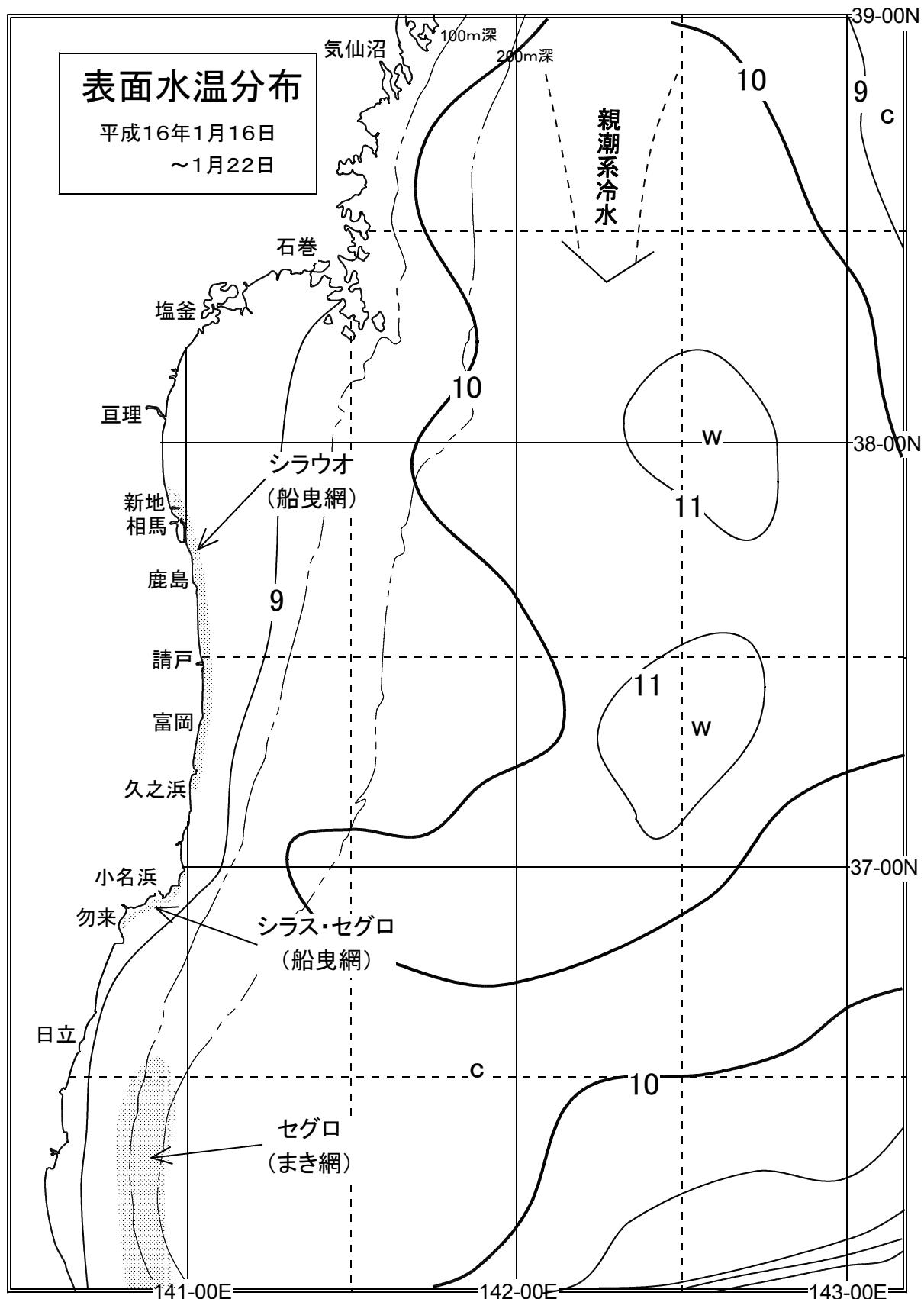


### 平成15年同期



## 表面水温分布

平成16年1月16日  
~1月22日



# 漁海況速報

No.4

平成16年1月30日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

親潮系冷水の南下みられるも  
本県沿岸は単調な水温分布

- ①親潮系冷水の勢力は前週並みだが、三陸沖合を細く南下している冷水の先端が、宮城県沖合でみられる。
- ②黒潮系暖水の波及は、依然として弱い。
- ③定地水温は、小名浜、大熊は2°C低め、松川浦は平年並みで推移している。

### 見通し(1週間)

- ・親潮系冷水、黒潮系暖水とも、本県沿岸への波及は現状並みに弱いでしょう。

### 平成16年1月海洋観測結果

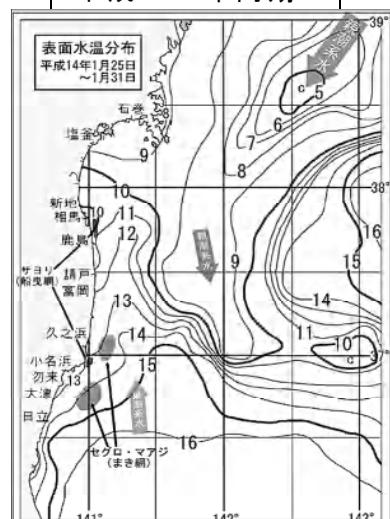
- ・平成16年1月26~28日に「いわき丸」で実施した海洋観測結果をお知らせします。
- ・今期の特徴は、親潮系冷水、黒潮系暖水の波及とともに弱く、極めて単調な水温分布になったことです。水温は、いわき海域で低め傾向が強く、黒潮系暖水の波及が弱い影響と思われます。
- ・平成14年7月から継続している「低め基調」は、今月も持続しています。低めを解消するような海洋構造はみられず、今後も継続する見込みです。

	0m深(表面)			100m深		
	水温値	平年差	前年差	水温値	平年差	前年差
鵜ノ尾崎	9.0	-1.86	-0.65	9.74	-1.23	-0.05
富岡沖	9.7	-2.70	-0.70	9.97	-2.01	+2.16
塩屋崎沖	10.0	-3.01	-3.47	9.97	-2.15	-1.27
平均	9.6	-2.52	-1.61	9.89	-1.80	+0.79

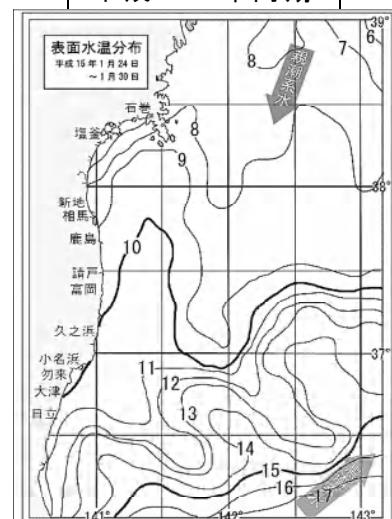
(表中の数字は°C、50海里以内の平均)

注意: 表中の前年差には、前年欠測だった富岡沖3点が含まれていない。

### 平成14年同期



### 平成15年同期



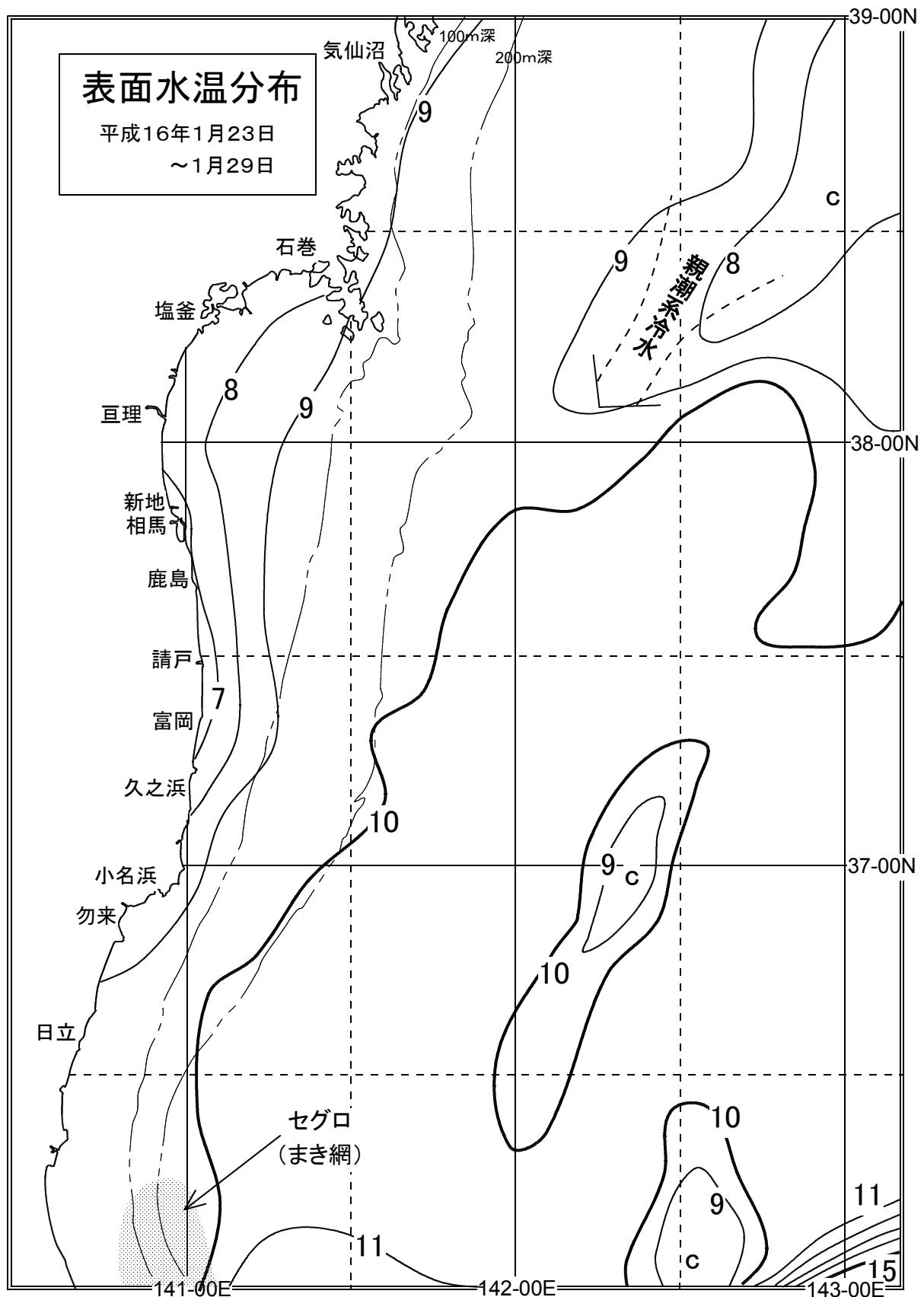
### 定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
1/23	8.7	8.0	7.1	9.4
1/26	8.2	7.8	6.5	9.2
1/27	8.3	7.7	6.5	9.1
1/28	8.2	7.8	6.3	9.0
1/29	8.3	7.8	6.4	9.1

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km 沖)

## 表面水温分布

平成16年1月23日  
~1月29日



# 漁海況速報

No.5

平成16年2月6日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

#### 親潮系冷水が県北部沖合に差し込む

- ①親潮系冷水の本県沿岸への勢力は前週並みだが、宮城～本県北部沖合に5°C以下の冷水が差し込んでいる。
- ②黒潮系暖水の波及は前週並みに弱い。
- ③定地水温は、小名浜、大熊は1°C低め、松川浦は平年並みで推移している。

### 見通し(1週間)

- ・親潮系冷水は、距岸50海里以東の沖合寄りに南下するでしょう。

### 漁況情報(ホッキ貝)

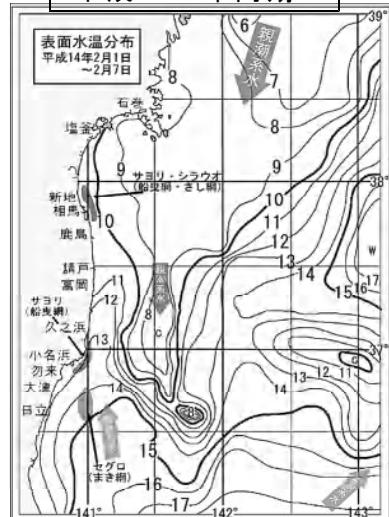
- ・平成15年漁期(平成15年6月～16年1月)のホッキ水揚げ状況をお知らせします。(数字は水試速報値)
- ・前年漁期と比較すると、県全体計での数量は約1割減の88%でしたが、金額は98%とほぼ同額となりました。
- ・数量を地区別にみると、磯部、原釜が前年の75%、56%と減少が目立ちました。

表 平成15年漁期と14年漁期におけるホッキ水揚げ状況

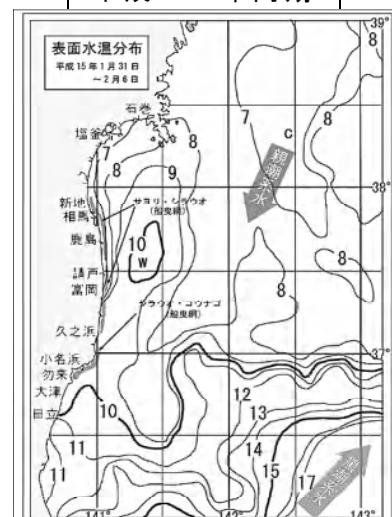
単位:数量トン、金額千円

地区名	平成15年漁期		平成14年漁期	
	数量	金額	数量	金額
沼之内	64	15,487	56	12,361
四倉	296	57,733	298	54,239
久之浜	120	23,155	93	19,838
請戸	151	61,794	130	52,748
鹿島	121	41,681	123	37,025
磯部	340	122,480	448	137,008
原釜	141	51,883	248	68,103
県全体計	1,232	374,213	1,395	381,330

### 平成14年同期



### 平成15年同期



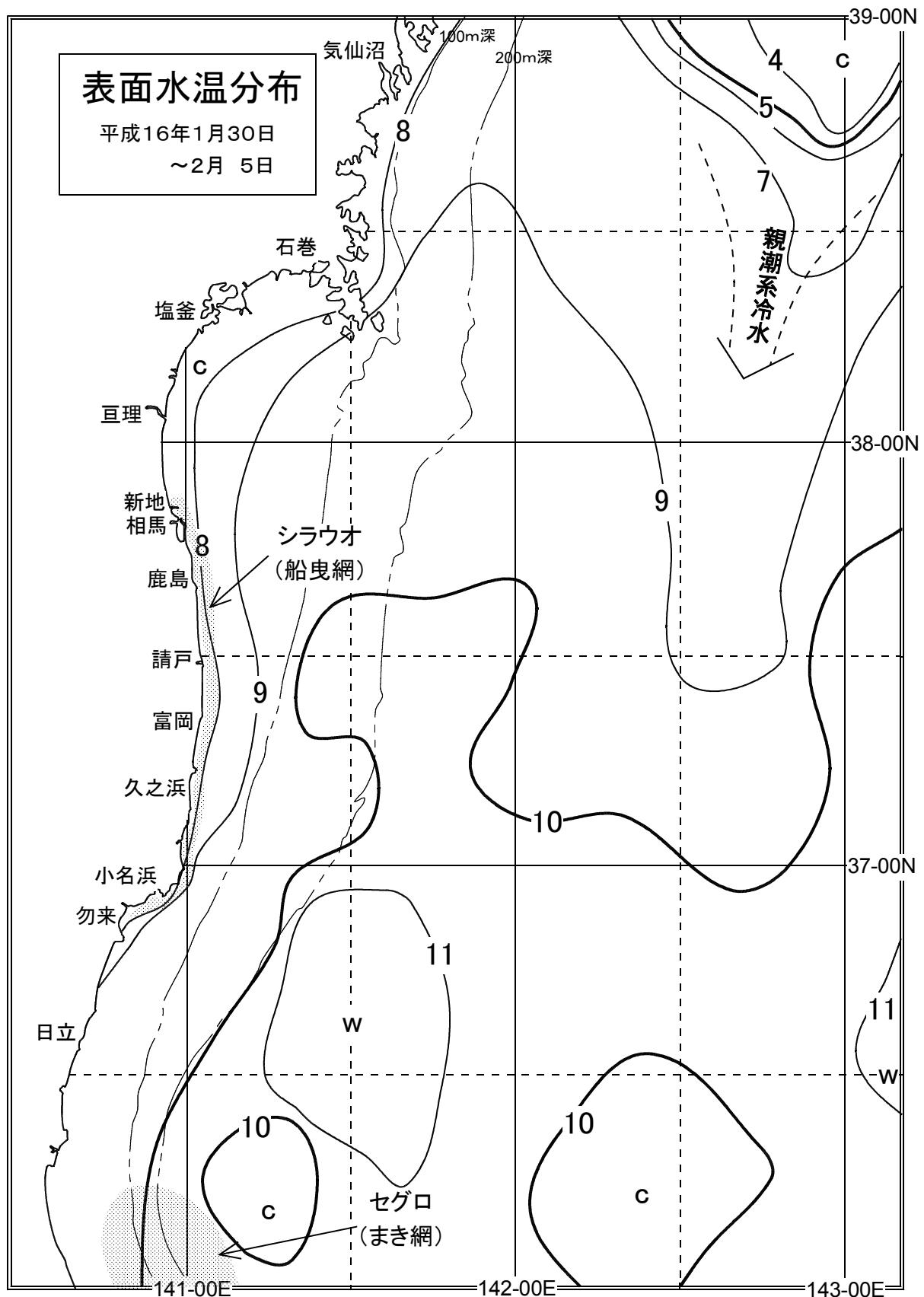
### 定地・定点水温の推移(°C)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
1/30	8.2	7.3	6.5	9.1
2/2	8.0	7.2	6.3	9.0
2/3	8.1	7.6	6.5	9.0
2/4	8.2	7.4	6.2	9.0
2/5	8.0	7.5	6.0	8.9

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

## 表面水温分布

平成16年1月30日  
~2月 5日



# 漁海況速報

No.6

平成16年2月13日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

#### 本県沖を親潮系冷水が南下

- ①親潮系冷水の本県沿岸への南下は前週より強まり、3°C台が宮城県沖まで南下したほか、勿来沖にも5°C台の冷水域がみられる。
- ②黒潮系暖水の勢力は前週並みで、茨城県沿岸に10°C台の弱い北上がみられる。
- ③定地水温は、小名浜は2°C低め、大熊は1°C低め、松川浦は平年並みで推移している。

### 見通し(1週間)

- ・親潮系冷水は、引き続き沖合寄りに南下するでしょう。

### 平成16年2月海洋観測結果

- ・平成16年2月9~11日に「いわき丸」で行った海洋観測の結果をお知らせします。
- ・今期の特徴は、これまで継続していた水温の「低め」基調がやや緩んだことです。塩屋崎沖合に冷水域があり、平年より約4°C低めとなったほかは、概ね「やや低め~平年並み」の水温となりました。
- ・これからは親潮系冷水の南下が強まる時期にあり、現況では宮城県海域まで差し込んでいます。今後1ヶ月程度は、冷水域が断続的に南下すると思われますが、距岸30海里以内の沿岸域への影響は少ないでしょう。

表 平成16年2月 福島県沖の水温平年差・前年差

	0m深(表面)			100m深		
	水温値	平年差	前年差	水温値	平年差	前年差
鵜ノ尾崎	8.5	+0.12	+0.57	8.87	+0.45	+0.82
富岡沖	8.7	-1.08	-0.07	8.66	-0.17	+0.64
塩屋崎沖	8.7	-2.20	-0.97	8.04	-1.61	-0.38
平均	8.6	-1.06	-0.16	8.52	-0.45	+0.36

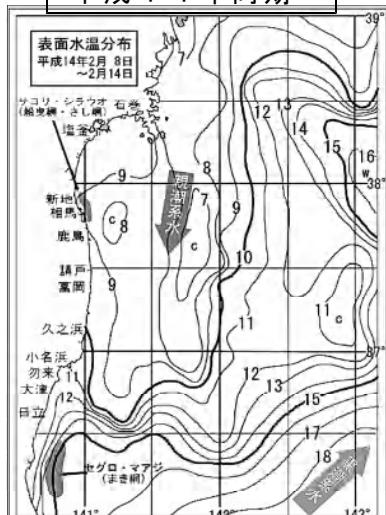
(数字は°C、距岸50海里以内の平均)

### 定地・定点水温の推移(°C)

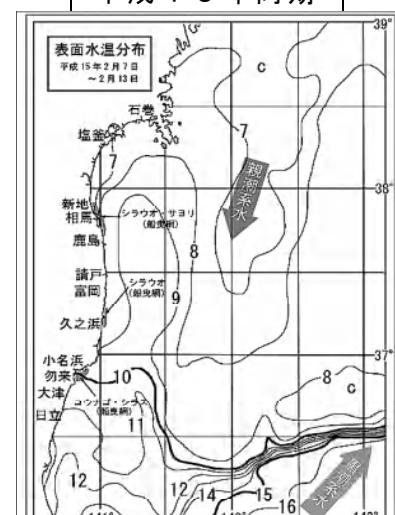
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/6	7.7	7.4	6.4	8.9
2/9	7.9	7.4	6.6	8.8
2/10	7.5	7.4	6.6	8.7
2/12	7.4	7.8	6.8	8.3
2/13	—	—	—	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

### 平成14年同期

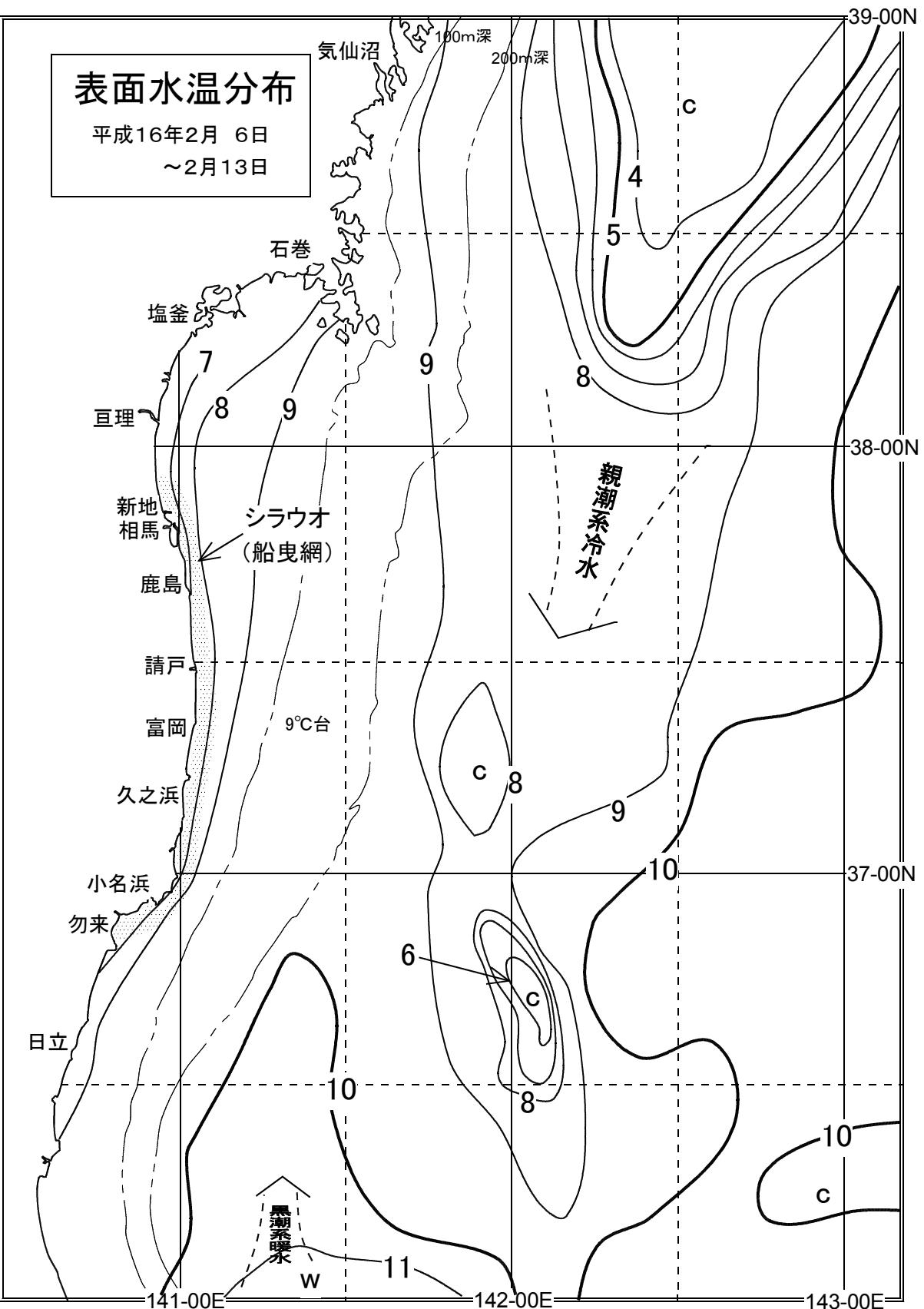


### 平成15年同期



## 表面水温分布

平成16年2月 6日  
~2月13日



# 漁海況速報

No.7

平成16年2月20日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況（表面）

沖寄りに親潮系冷水が南下

①親潮系冷水は、本県沖70海里付近を南下しており、5°C台の先端は塩屋崎沖に達している。

②本県の沿岸（距岸50海里以内）は、前週より1°C降温したが、大きな変化はみられない。

③定地水温は、小名浜は2°C低め、大熊は1°C低め、松川浦は平年並みで推移している。

### 見通し（1週間）

・親潮系冷水の南下は継続しますが、沿岸への差しこみは弱いでしょう。

### 漁況情報（コウナゴ）

- 2月9日に勿来で初水揚げとなったコウナゴ漁ですが、その後は量がまとまらず低調な漁模様が続いています。また、漁獲されているコウナゴのサイズは、昨年よりやや小さい模様です。
- 2月1日（鵜ノ尾ラインは10日）に実施した相双海域のコウナゴ漁期前調査の結果は次のとおりでした。
- 各定線とも距岸6~8マイル付近に多くみられ、真野川、請戸ラインでは昨年を大幅に上回りました。また、3定線の合計は昨年をやや上回る約7.5万尾で、近年では高位の入網尾数でした。魚体は、真野川・請戸ラインで5mm台、鵜ノ尾ラインでは8mmと、昨年より小型でした。

### コウナゴ漁期前調査結果（総採集尾数）

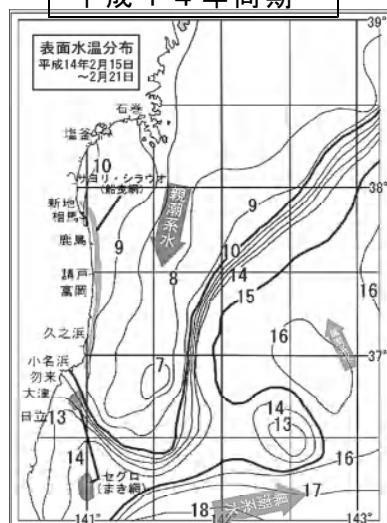
定線/年	平成16年	平成15年	平成14年
鵜ノ尾	8,598	48,167	12,381
真野川	27,231	10,420	4,212
請戸	40,044	10,337	3,984
計	75,873	68,924	20,577

### 定地・定点水温の推移(°C)

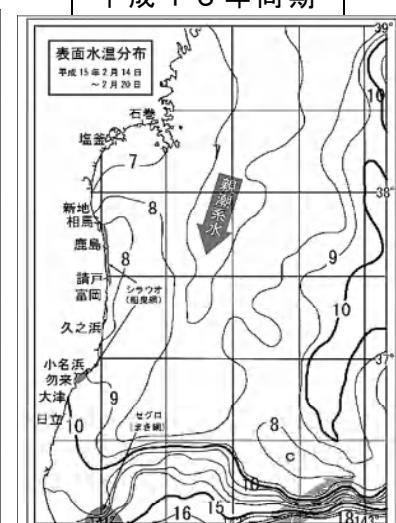
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/13	7.6	7.7	6.8	8.2
2/16	7.6	7.7	6.8	8.3
2/17	7.5	7.8	6.7	8.2
2/18	7.7	8.0	6.9	8.0
2/19	7.6	7.5	6.5	8.2

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

### 平成14年同期

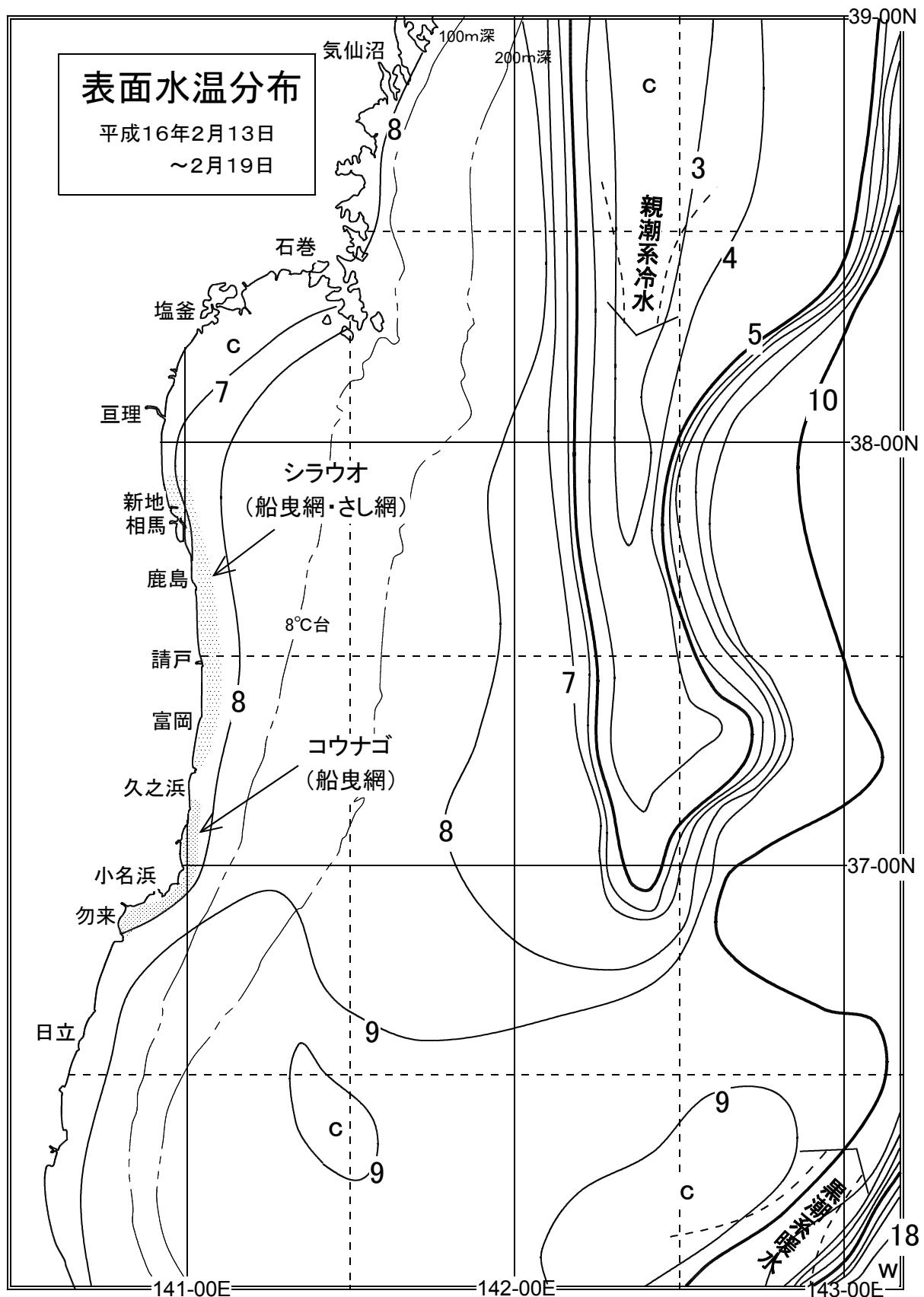


### 平成15年同期



## 表面水温分布

平成16年2月13日  
~2月19日



# 漁海況速報

No.8

平成16年2月27日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

#### 親潮の南下が継続

①親潮系冷水は、前週に引き続き本県沖を南下している。特に、いわき沖では3°C台の冷水が前週より沿岸寄りの距岸30海里付近まで波及している。

②定地水温は、小名浜は1°C低め、大熊は平年並み、松川浦は1°C高めで推移している。

#### 見通し(1週間)

・引き続き現状並みの勢力で親潮系冷水が南下するでしょう。

### 漁況情報(底びき網、主要7港)

- ・底びき漁(小底・沖底)が解禁した平成15年9月から平成16年1月までの漁模様をお知らせします。
- ・期間の合計でみると、漁獲量は約4,700トン、金額は約18億円で、前年に比べ量は91%、金額は86%でした。
- ・マガレイは、数量が前年より約180トンも増加しました。また、他のカレイ類(ナメタ、ヤナギムシ、ニクモチ)も増加しており、資源が順調に加入しているためと思われます。
- ・大きく減少したのは、メヒカリ、スルメイカ、等のいわゆる「流れもの(本県沿岸への来遊資源)」で、これらで約850トンも減少しました。

金額上位種の漁獲量対比(単位:トン)

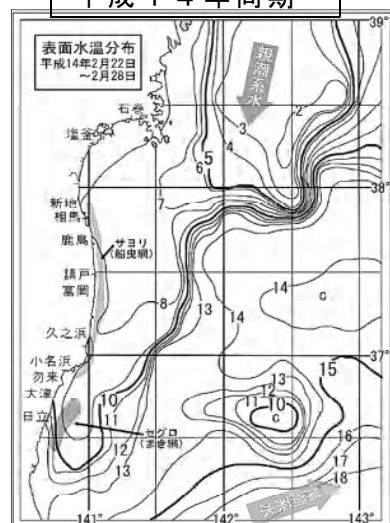
金額上位種(順位)	H15.9～H16.1	前年同期	前年比(%)
1 ヤナギダコ	1,109	848	131
2 マガレイ	385	205	188
3 マダラ	647	397	164
4 ナメタガレイ	132	80	165
5 ヤナギムシガレイ	53	34	155
6 キアンコウ	118	146	81
7 マアナゴ	186	154	120
8 ズワイガニ	118	76	155
9 ヒラメ	55	105	52
10 ミズダコ	211	207	102

### 定地・定点水温の推移(°C)

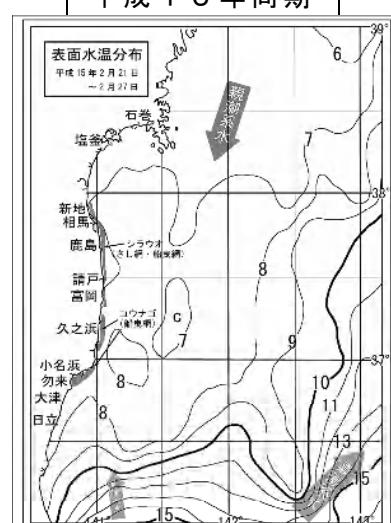
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/20	8.0	7.4	6.6	8.2
2/23	8.8	8.9	7.3	8.0
2/24	8.3	8.1	7.2	7.3
2/25	8.4	8.7	7.0	7.7
2/26	8.6	8.3	7.6	7.5

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

### 平成14年同期

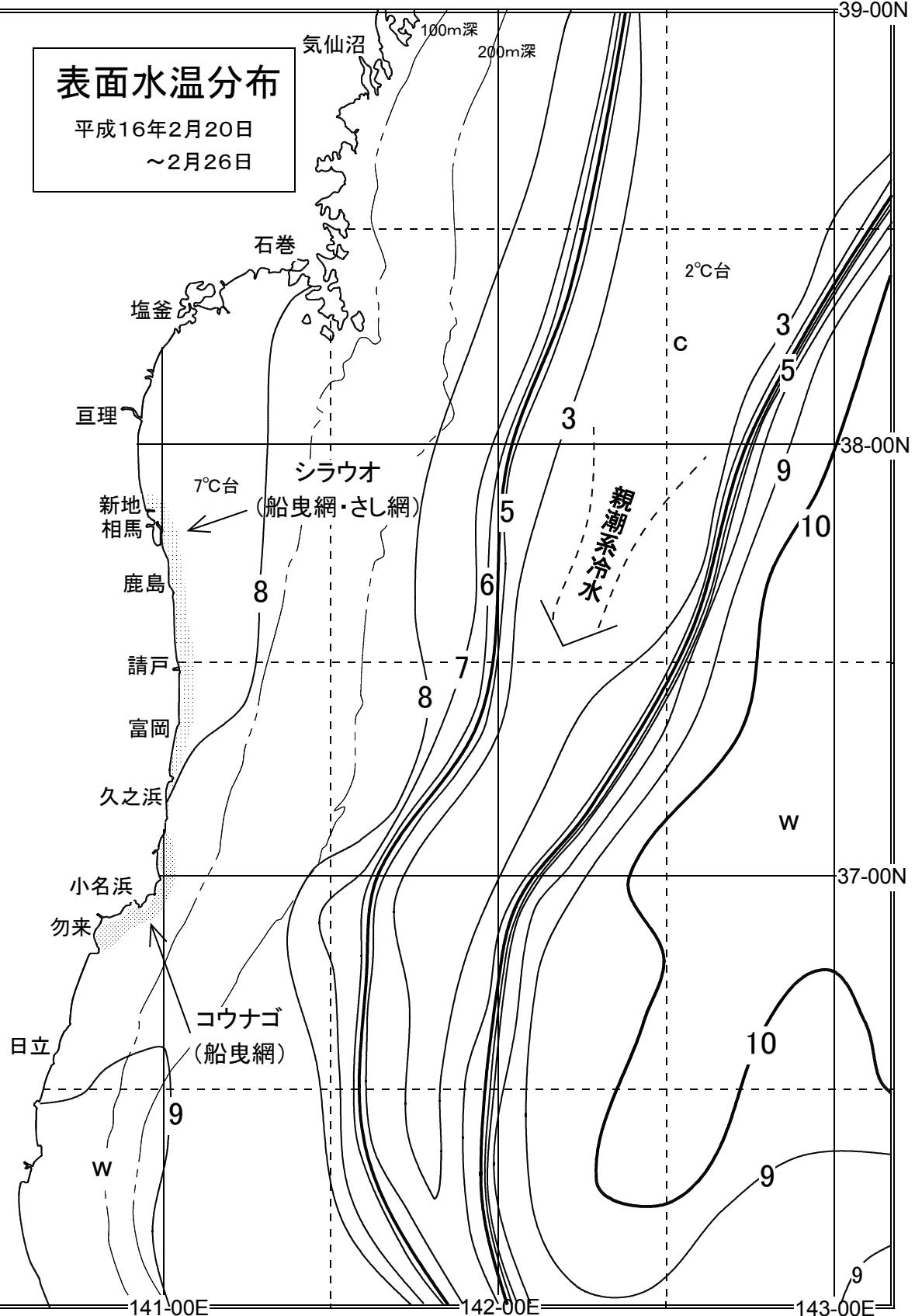


### 平成15年同期



## 表面水温分布

平成16年2月20日  
~2月26日



# 漁海況速報

No.9

平成16年3月5日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

#### 親潮系冷水は

①親潮系冷水の勢力は前週並みだが、前週より沿岸寄りに細く南下している。5°Cの等温線は、塩屋崎沖で距岸約20海里付近、相馬沖で約40海里付近まで分布している。

②定地水温は、小名浜は2°C低め、大熊は平年並み~1°C低め、松川浦は平年並みで推移している。

### 見通し(1週間)

・親潮系冷水の南下は現状並みに継続する見込みです。

### 平成16年3月海洋観測結果

- 平成16年3月2~4日に、「いわき丸」で実施した観測結果をお知らせします。
- 今期の特徴は、親潮系冷水の南下が強まつことです。距岸20~25海里以東を南西方向に親潮系冷水が南下し、沖合は平年より「低め~極めて低め」となりました。
- 親潮系冷水の南下は、今後も断続的にみられる見込みで、黒潮系暖水の波及が弱いため、常磐海域には冷水域として停滞するでしょう。

表 平成16年3月 福島県沖の水温平年差・前年差

	0m深(表面)			100m深		
	水温値	平年差	前年差	水温値	平年差	前年差
鵜ノ尾崎	6.4	-1.03	-0.54	5.07	-2.28	-1.82
富岡沖	5.9	-2.34	-1.74	4.14	-3.55	-2.81
塩屋崎沖	5.8	-3.88	-1.83	3.75	-4.72	-3.98
平均	6.1	-2.41	-1.37	4.32	-3.52	-2.87

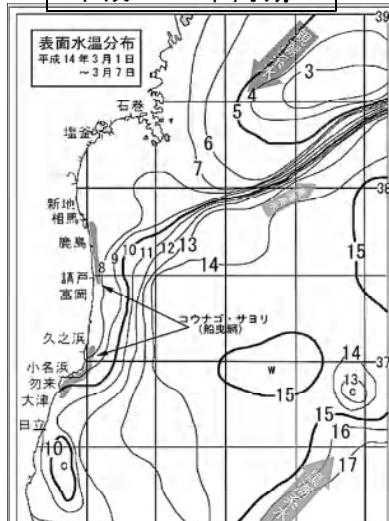
(数字は°C、距岸50海里以内の平均)

### 定地・定点水温の推移(°C)

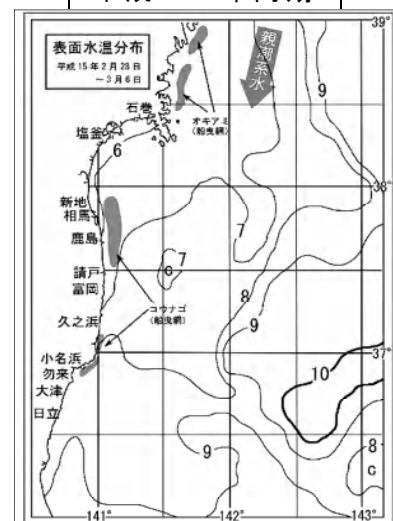
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
2/27	8.3	8.4	6.6	-
3/1	8.4	8.2	7.1	-
3/2	7.7	8.0	6.7	-
3/3	7.5	7.7	6.5	-
3/4	7.7	7.8	6.8	-

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

### 平成14年同期

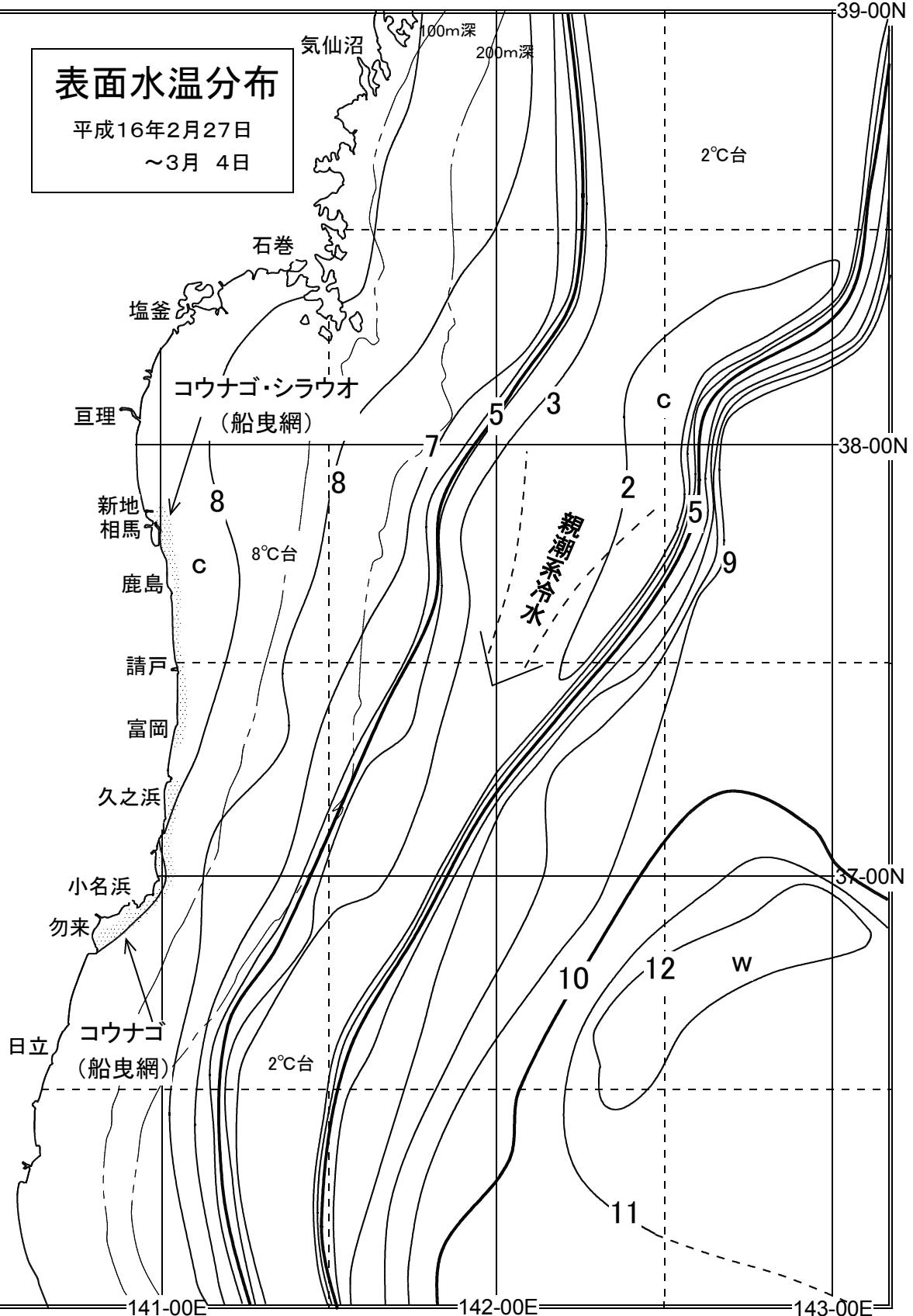


### 平成15年同期



## 表面水温分布

平成16年2月27日  
~3月 4日



# 漁海況速報

No.10

平成16年3月12日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

### 海況(表面)

沿岸は昇温したが、親潮系冷水の南下は持続

①親潮系冷水の勢力は持続し、5°C以下の冷水は宮城～本県沖50海里以東に広く分布している。50海里以内の沿岸は昇温し、5°C以下の冷水はほぼ解消した。

②定地水温は、小名浜は2°C低め、大熊は1°C低め、松川浦は平年並みで推移している。

### 見通し(1週間)

・親潮系冷水の沿岸への差しこみが再びみられるでしょう。

### 漁況情報(コウナゴ)

- いわきでは2月から、相双では3月から始まったコウナゴ漁についてお知らせします。
- 相双では、3月10日以降、漁も上向いているようですが、魚体が20mm以下と小型のため、安くなっています。
- いわきでは、日間差はありますが、魚体も30mm以上になり、単価も比較的高めとなっています。
- いずれの地区も、本格的な漁になるのはこれからです。

表 3月1日～10日の地区別コウナゴ漁模様

	平成16年		前年同期	
	いわき	相双	いわき	相双
漁獲量kg	11,925	54,018	93,987	75,884
単価円/kg	598	362	450	622

(水産試験場速報値)

### ムラサキイガイの出荷自主規制について(3/11発表)

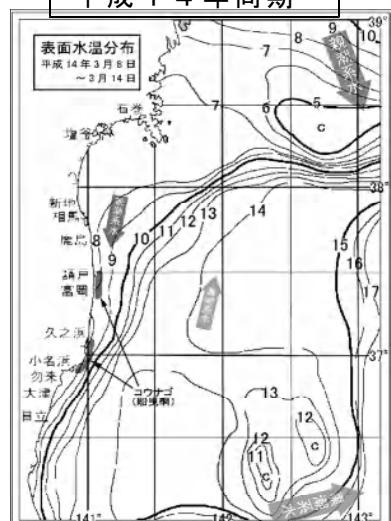
・3月8日に本県産のムラサキイガイ(通称シュウリイガイ)を採捕・検査した結果、国の基準値を超えるまひ性貝毒が検出されました。関係者は、採捕・出荷に際しては自主規制措置を講じて下さい。また、一般の方も十分注意してください。

### 定地・定点水温の推移(°C)

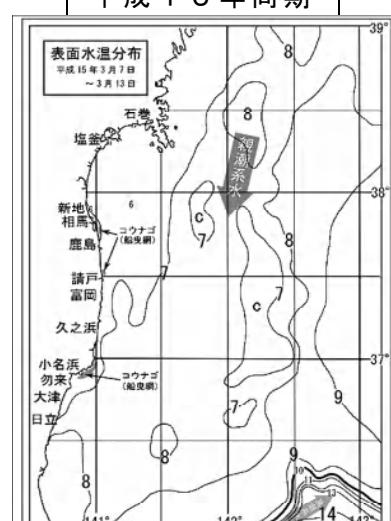
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
3/5	7.6	7.8	6.8	6.2
3/8	7.4	7.7	6.4	5.9
3/9	7.7	7.3	6.9	6.4
3/10	8.0	7.6	7.2	6.5
3/11	8.3	7.7	7.6	7.0

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km沖)

### 平成14年同期



### 平成15年同期



## 表面水温分布

平成16年3月 5日  
~3月11日

